

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①本体セット

名 称		員 数
①	本体	1

②トップレールセット

名 称		員 数
②	トップレール	1

③支柱セット

名 称		員 数
③	支柱	1

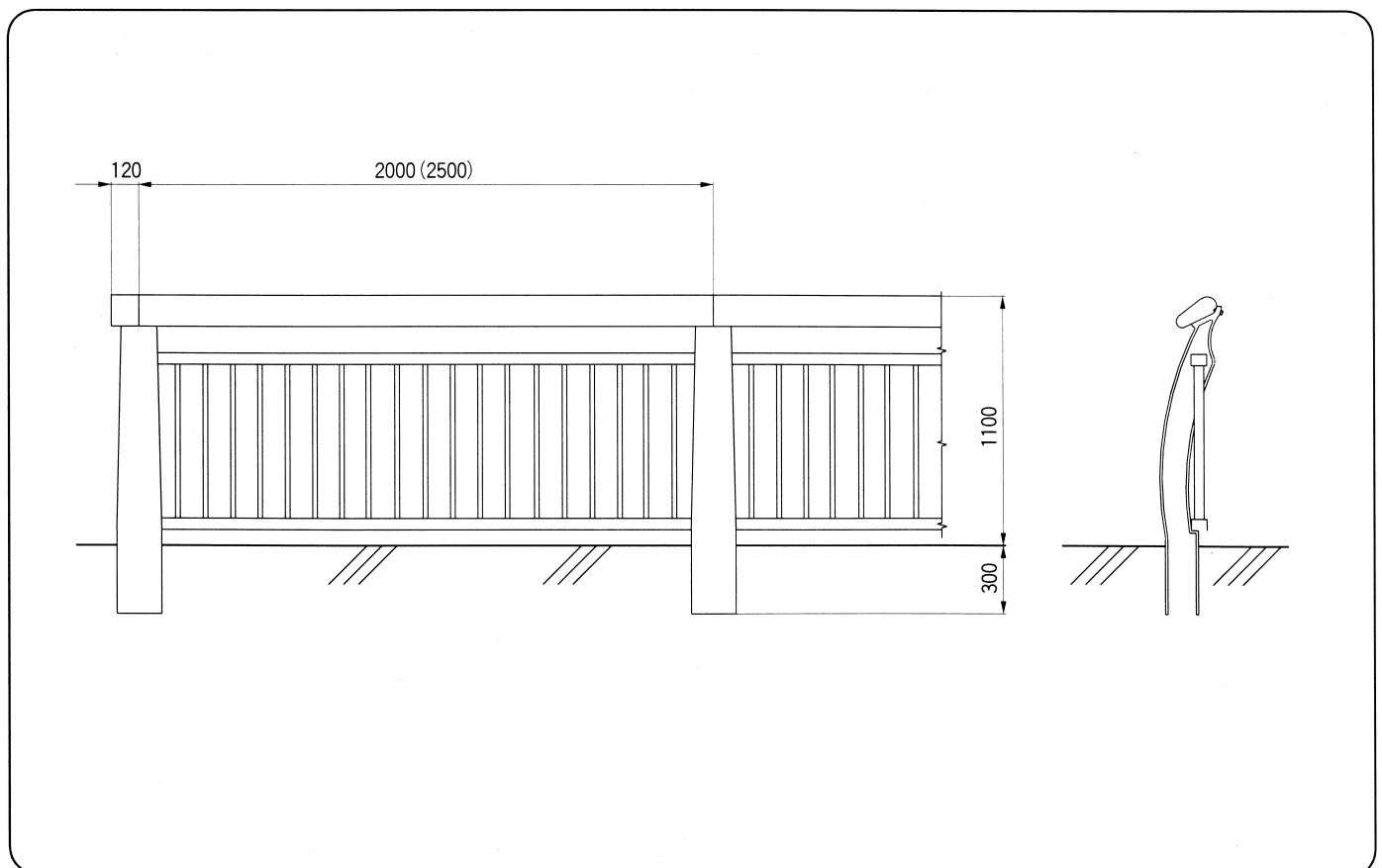
④端末キャップセット

名 称	員 数	
	右 用	左 用
④ 端末キャップ(右用)	1	—
⑤ 端末キャップ(左用)	—	1

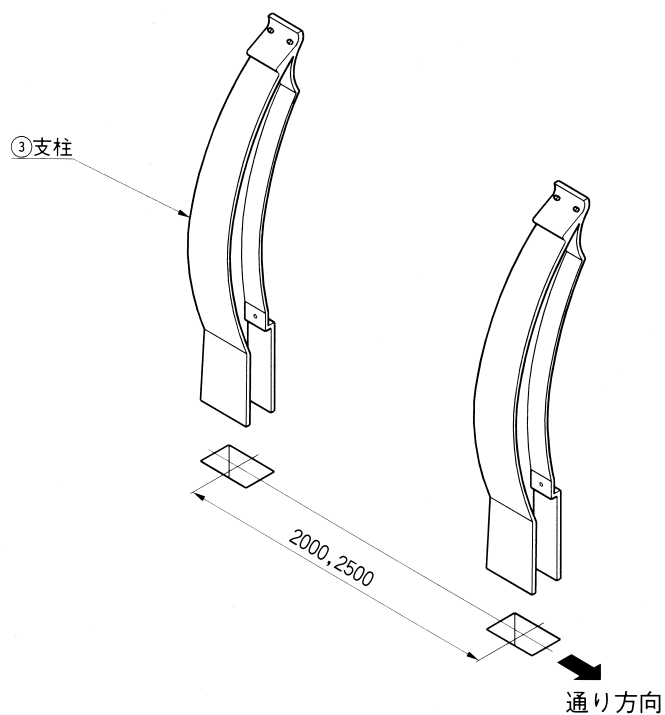
⑤取付部品セット

名 称	員 数	
	中間用	端末用
⑥ トップレール用スリーブ	1	1
⑦ トップレール用クリップ	1	1
⑧ 本体笠木用クリップ	2	1
⑨ 本体ボトムレール用スリーブ	1	1
⑩ トップレールスリーブ固定ビス M6×16ナベ	2	2
⑪ トップレール固定ボルト M12×40	2	2
⑫ 本体笠木用クリップ取付ボルト M10×45	2	2
⑬ 本体笠木固定ボルト M10×30	2	1
⑭ ボトムレール固定ボルト M16×30	2	2
⑮ M12平ワッシャ	2	2
⑯ M12バネワッシャ	2	2
⑰ M10六角ナット	2	2
⑱ M10平ワッシャ	8	7
⑲ M10バネワッシャ	6	5

1.基本寸法および施工図

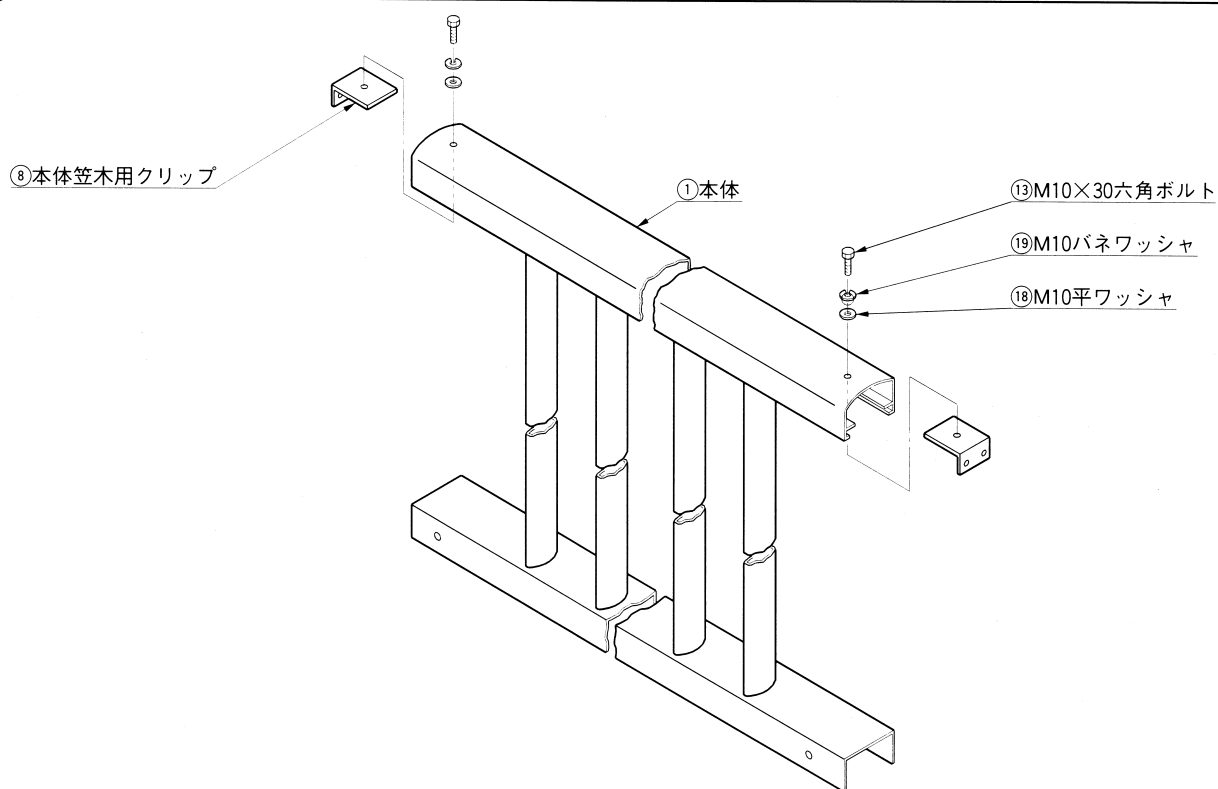


2. 柱の施工



- あらかじめ2000(2500)ピッチであけた下穴に通り方向と柱の向きに注意しながら柱を設置して下さい。
- その後コンクリートを十分硬化させて下さい。

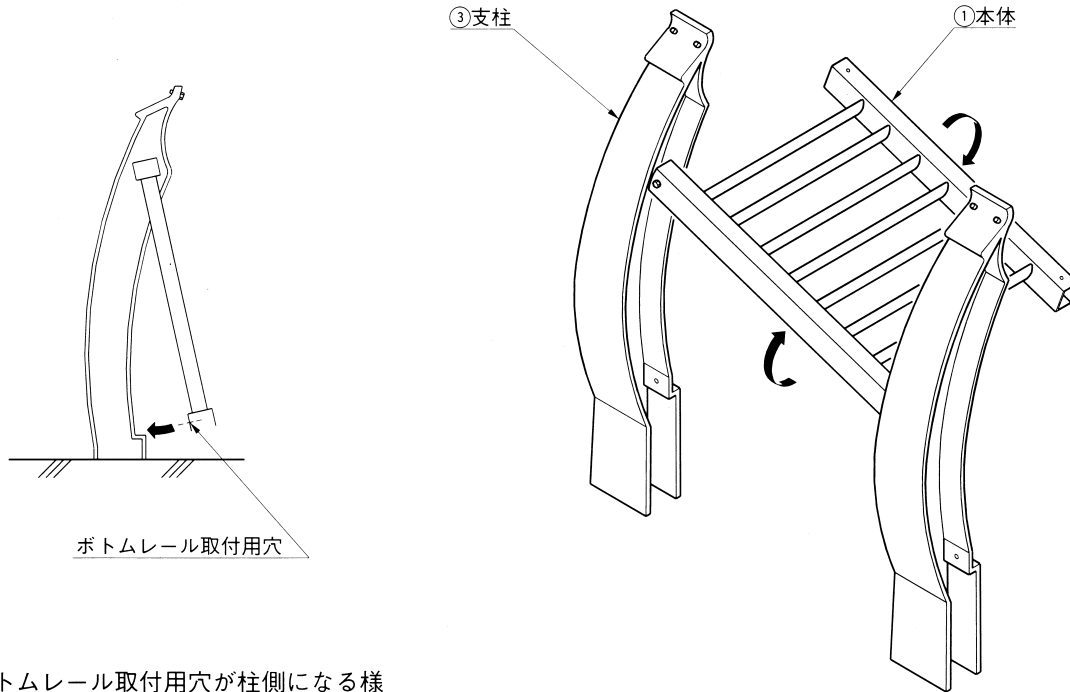
3. 手すり本体の取付け(1)



- 手すり本体に本体笠木用クリップをボルト締めにして下さい。
この時は、施工誤差を踏まえて仮締めの状態にしておいて下さい。

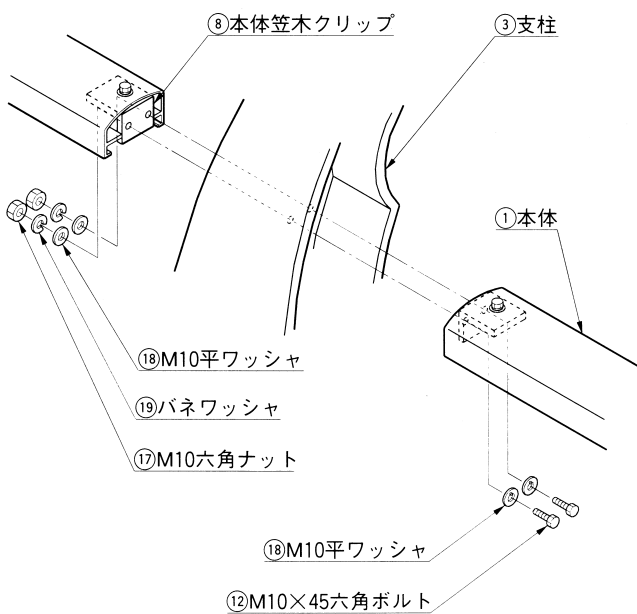
4. 手すり本体の取付け(2)

- 手すり本体の笠木を図の様に片方ずつ柱間に差し入れて下さい。この時ボトムレールの取付穴が柱側に向く様に気を付けて下さい。



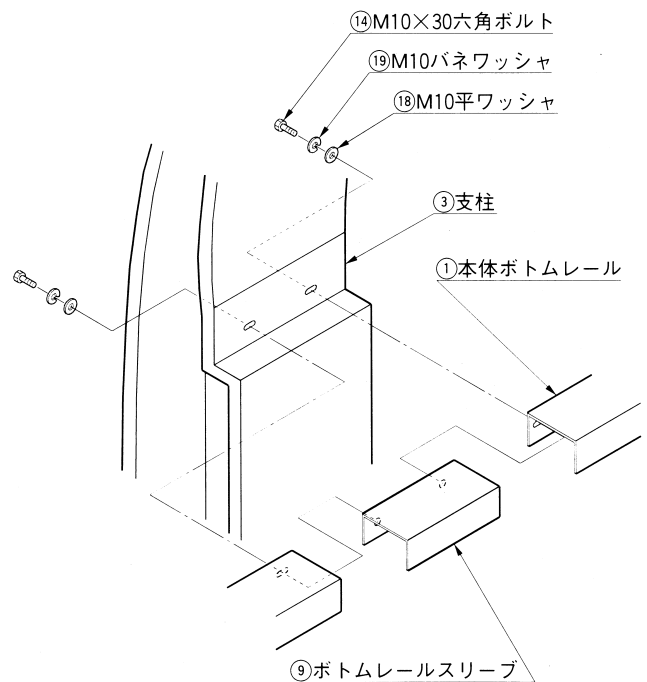
- ボトムレール取付用穴が柱側になる様向きに御注意下さい。

5. 手すり本体の取付け(3)



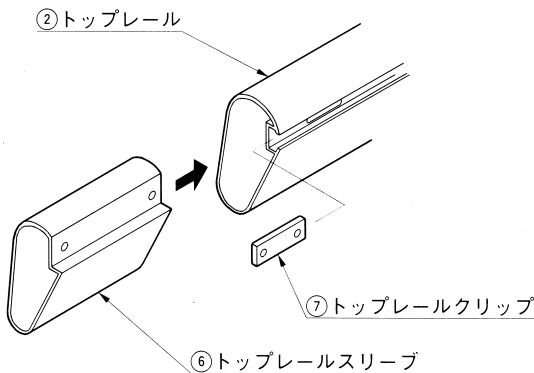
- 支柱に差し入れた手すり本体のクリップ同志を支柱にボルト止めして下さい。
- 各ボルトを確実に締めて下さい。

4. 手すり本体の取り付け(4)



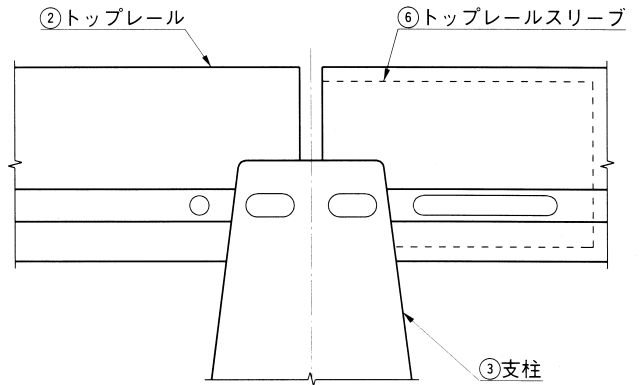
- ボトムレールにスリーブを挿入してボルト締めして下さい。この時、スリーブには片面だけにネジを立ててあるので、向きに注意して下さい。

7. トップレールの取付け(1)



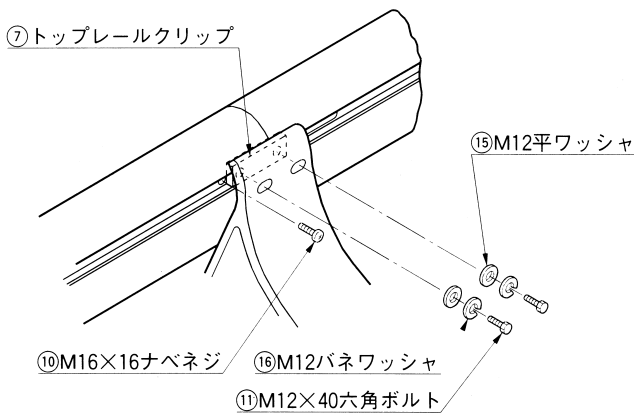
- 始めにトップレールの長穴があいている側にインナー Sleeve とトップレールクリップを挿入しておいて下さい。この時インナー Sleeve の右側の下穴が長穴から見える範囲内にとどめておいて下さい。

8. トップレールの取付け(2)



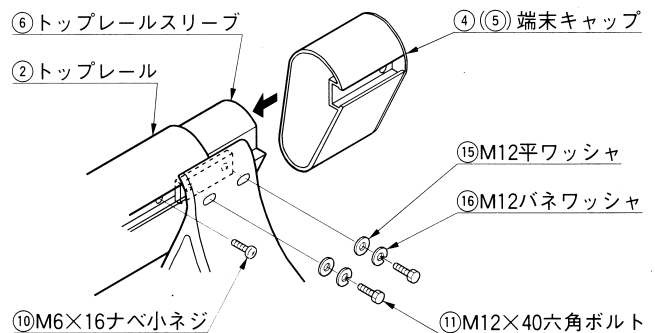
- 次に柱の中心に継ぎ目が来る様トップレールを柱にのせて下さい。インナー Sleeve をトップレールの長穴を利用してスライドさせ、継ぎ目の中心に持って来て下さい。この時トップレールとインナー Sleeve の下穴を合わせておいて下さい。

9. トップレールの取付け(3)



- インナー Sleeve の位置が決まりましたら同様にしてトップレールクリップの下穴を支柱の下穴に合わせる様スライドさせて下さい。
- 下穴が合った所でインナー Sleeve 及びトップレールクリップをビス及びボルトで止めて下さい。

10. 端末キャップの取付け



- 中間部分と同様に先にトップレール側にインナー Sleeve とトップレールクリップを挿入しておいて下さい。
- インナー Sleeve とトップレールクリップの下穴を合わせたら、トップレール側のビス及びボルトを仮締めしておいて下さい。
- 次に端末キャップをインナー Sleeve とトップレールクリップに差し込んで下さい。この時端末キャップには左右があるので注意して下さい。
- その後、ビスとボルトを本締めして下さい。

工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けて下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

C114

IE-D①